

内令第一號

昭和十九年十一月三十日迄電測關係指導ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

聯合艦隊司令部

少佐、大尉 附 一人

中少尉(水)、兵曹長 附 一人

兵曹 一人 (掌電測兵) (吳鎮守府在籍者)

第三艦隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附 一人 (佐世保鎮守府在籍者)

第四艦隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附 一人 (横須賀鎮守府在籍者)

南西方面艦隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附 二人 (吳、舞鶴鎮守府在籍者各一)

内令

0972

内令

兵 曹 一人(掌電測兵 高)(佐世保鎮守府在籍者)

南東方面艦隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附 一人(吳鎮守府在籍者)

北東方面艦隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附 一人(佐世保鎮守府在籍者)

内令第二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日 海軍大臣 嶋田 繁太郎

高雄警備府(新竹航空基地保管員ニ充ツベキモノ)

特務士官(水)、(飛)、(整) 附 一人

中少尉(水)、兵曹長 附 一人

中少尉(整)、整備兵曹長 附 一人

中少尉(機)、(工) 附 一人
機關兵曹長、工作兵曹長

0973

主計中少尉(主)、主計兵曹長	附	一人
兵 曹、水 兵		二十八人 (掌砲兵 一、掌電信兵 三)
整備兵 曹、整備兵		八人 (掌整備兵器 四、射爆 一)
機 關 兵 曹、機 關 兵		二十七人 (掌機兵 一、機械 一、掌内火兵 三、掌電機兵 二)
工 作 兵 曹、工 作 兵		三人 (掌工兵 (木具))
衛 生 兵 曹、衛 生 兵		二人
主 計 兵 曹、主 計 兵		七人 (掌經理兵 一、掌衣糧兵 一)
水 兵、整備兵、機 關 兵		五十八人

内令第三號

昭和十八年内令第七百四十八號中「新竹海軍航空隊 (高雄分遣隊ノ職員ニ充ツベキモノ)」ヲ「高雄海軍航空隊」ニ、同部中「分遣隊長」ヲ「教官」ニ改ム

昭和十九年一月一日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

内 令

三

0974

内令

四

参照 昭和十八年内令第七百四十八號ハ高雄海軍航空隊(茲中分遣隊ノ職員ニ充ツベキモノ)等ニ人員臨時増置ノ件
同年内令第二千六百六十六號ハ第二〇三海軍航空隊ニ人員臨時増置ノ件

内令第四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍航空隊

中少尉(飛)、飛行兵曹長

隊附兼教官(教員) 六人

飛行兵曹

(教員) 八人(掌飛行兵)

整備兵曹、整備兵

五十六人(掌整備兵 三二)

佐世保海軍航空隊

少佐、大尉 分隊長 一人

兵科尉官 隊附 二人

軍醫科尉官 隊附 一人

0975

内令

中少尉(飛)	飛行兵曹長	九人
中少尉(整)	整備兵曹長	二人
兵曹、水兵		十五人 (掌信號兵 二、掌電信兵 六)
飛行兵曹		十三人 (掌飛行兵)
整備兵曹、整備兵		六十人 (掌整備兵 二、掌航空兵器兵 射爆 二)
機關兵曹、機關兵		六人 (掌電機兵 一)
工作兵曹、工作兵		五人 (掌工兵 航空板金 二、航空檢校 一)
衛生兵曹、衛生兵		一人
主計兵曹、主計兵		六人 (掌衣糧兵 一)
第五〇二海軍航空隊		
中少	佐	飛行隊長
一人		
少佐、大尉	尉	分隊長
五人		
兵科尉	官	隊附
十二人		
軍醫科尉	官	隊附
一人		

五

0976

主計科尉官	隊附	一人	
中少尉(水)兵曹長	隊附	二人	
中少尉(飛)飛行兵曹長	隊附	二十七人	
中少尉(整)整備兵曹長	隊附	七人	
中少尉(工)工作兵曹長	隊附	一人	
主計中少尉(主)主計兵曹長	隊附	一人	
兵曹、水兵		十六人	(掌信號兵 一、掌電信兵 九)
飛行兵曹		四十人	(掌飛行兵)
整備兵曹、整備兵		二百五十人	(掌整備兵 九五、掌航空兵器長(射爆) 一六)
機關兵曹、機關兵		八人	(掌電機兵 一)
工作兵曹、工作兵		七人	(掌工兵 航空板金 四、航空格接 一)
衛生兵曹、衛生兵		四人	
主計兵曹、主計兵		十四人	(掌經理兵 三、掌衣糧兵 三)

0977

内令第五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三三一海軍航空隊

主 計 兵 五人

内令第六號

當分ノ間圖書配給事務ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四海軍軍需部

中少尉(水)、兵曹長 附 一人

第八海軍軍需部

兵 曹 三人(特修兵適宜)

内 令

七

0978

内令

八

中少尉(水)、兵曹長 附 一人

兵 曹 二人(特修兵適宜)

第一百海軍軍需部

兵 曹 二人(特修兵適宜)

第一百二海軍軍需部

兵 曹 三人(特修兵適宜)

第一百三海軍軍需部

海南海軍軍需部

兵 曹 一人(特修兵適宜)

内令第七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八海軍軍需部(カビエン支部ノ職員ニ充ツベキモノ)

0979

内令

兵科、主計科佐尉官	支部長	一人
主計科尉官	附	一人
中少尉(水)、(機)	附	一人
兵曹長、機關兵曹長	附	一人
主計中少尉(主)、主計兵曹長	附	一人
兵曹、機關兵曹		二人
主計兵曹、主計兵		一人(掌經理兵)
書記	附	臨時一人

九

0980

内令第八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十八年十二月二十八日ヨリ之ヲ適用ス
昭和十八年内令第九百二十二號ハ之ヲ廢止シ昭和十八年十二月二十八日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四十一航空基地隊

兵 曹、水 兵

百六十二人

横須賀鎮守府在籍者
吳鎮守府在籍者
佐世保鎮守府在籍者
舞鶴鎮守府在籍者
一七三四
一三四一

整備兵曹、整備兵

七十一人

横須賀鎮守府在籍者
吳鎮守府在籍者
佐世保鎮守府在籍者
舞鶴鎮守府在籍者
二一七
一八七

機關兵曹、機關兵

六十四人

參照 廢止内令ハ第二十四航空戰隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

二二

0981

内令第九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍航空隊

特務士官(水)、兵曹長

隊附

五人

(内 吳、舞鶴鎮守府在籍者 各一
佐世保鎮守府在籍者 各二)

兵 曹、水 兵

四十人 (掌機雷兵)

高 二〇 内 吳、舞鶴鎮守府在籍者 各四
普 二〇 内 佐世保鎮守府在籍者 各四

整備兵

二十人

内令

一三

0982

内令第十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

ラバウル海軍運輸部

軍醫科佐尉官 部員 一人

衛生兵曹、衛生兵 二人

内令

一五

0983

内令第十一號ノ二

海軍航空技術廠處務規程中左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十五條中「航空機」ヲ「航空兵器」ニ改メ

(内令提要卷一、三〇ノ一二頁参照)

皇太子御親筆

内令

一八ノ二

0984

内令

三二

内令第十二號ノ二

戦時編制實施中艦隊等ノ司令部附タル特務士官以下ノ補充鎮守府ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴鎮守府ノ部中第八戰隊及第五十航空戰隊ヲ削ル

(内令提要卷二、一二頁參照)

0985

内令〔自第八號
至第十號〕（後送ス）

内令〔自第十一號
至第十三號〕（所要ノ向ニ配付ス）

内令第十四號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第六十號（横）」ヲ削ル

佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第六十四號（吳）」ヲ削ル

佐世保防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第六十六號（佐）」ヲ削ル

大湊防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第四十九號（大）」ヲ削ル

鎮海防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第三十八號（鎮）、第五十一號（鎮）」ヲ削ル

内令

二五

0986

第二特別根據地隊ノ項驅潛特務艇ノ欄
 「第四十七號」
 第六十一號
 第六十二號
 (佐舞舞)
 「
 第四十七號」
 第六十九號
 第六十一號
 第六十二號
 第六十四號
 (吳佐舞橫大舞)
 「
 二改ム
 第八十一警備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第三十四號(吳)」ノ次ニ「第三十八號(鎮)」ヲ、「第四十
 八號(吳)」ノ次ニ「第五十一號(鎮)、第六十六號(佐)」ヲ加フ

參照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令第十五號

右特設航空機運搬艦トシ横須賀鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

汽船 りねん丸
汽船 慶洋丸

右特設航空機運搬艦トシ吳鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

汽船 名古屋丸
汽船 富士川丸

0987

右特設航空機運搬艦トシ舞鶴鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第十六號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

汽船	同	同	同	同	汽船	船名	特設艦船種別	所管
						陸榮丸	特設運送船(給油船)	横須賀鎮守府
						興川丸		吳鎮守府
						あまつ丸		佐世保鎮守府
						大峯山丸		

内令

二七

0988

内令

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
富士川丸	隆興丸	第八桐丸	彦島丸	明昭丸	海河丸	大朝丸	朝威丸	日營丸	名古屋丸	第十八日正丸	木津川丸	慶洋丸	りね丸
特設運送船(雑用船)													
佐世保鎮守府		吳鎮守府						横須賀鎮守府					

二八

0989

同	大鳥丸	舞鶴鎮守府
同	昌寶丸	

内令第十七號

特設海軍建設部令中左ノ通改正セララル

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條中「及調査竝ニ開拓」ヲ、「調査、補給及運輸竝ニ施設及開拓等」ニ改ム
 第五條中「司令長官」ノ下ニ「又ハ司令官」ヲ加フ

(内令提要卷一、三八ノ二四ノ一頁参照)

内令第十八號

海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地ノ件中左ノ通改正セララル

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二九

0990

内令

三〇

吳鎮守府ノ部中宿毛海軍航空隊ノ項ヲ削ル

佐世保鎮守府ノ部中新竹海軍航空隊ノ項ヲ削リ同部中第一五一海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加
フ

第一五三海軍航空隊

新竹航空基地（臺灣新竹州新竹市）

同部中第二五三海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第四五三海軍航空隊

指宿航空基地（鹿児島縣指宿郡）

左ノ地ニ海軍航空隊分遣隊ヲ置ク部中新竹海軍航空隊高雄分遣隊ノ項ヲ削ル

（内令提要卷一、三〇ノ三八頁参照）

内令第十九號

海軍練習航空隊ニ指定ノ件申左ノ通改正セララル

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0991

「宮崎海軍航空隊」ノ次ニ「鹿屋海軍航空隊」ヲ加ヘ「新竹海軍航空隊」ヲ削ル

(内令提要卷一、三〇ノ四二頁参照)

内令第二十號

昭和十八年内令第十一號航空基地管理ニ關スル件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

指宿航空基地ノ項中「宿毛海軍航空隊」ヲ「第四五三海軍航空隊」ニ改ム

(内令提要卷一、三〇ノ四一頁参照)

内令第二十一號

昭和十八年内令第二千五百五十五號海軍練習航空隊ノ所掌事項ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

三一

0992

内令

三三

臺南海軍航空隊乃至海口海軍航空隊ノ部ノ次ニ左ノ如ク加フ

高雄海軍航空隊

- 一 陸上機及艦上機ノ操縦ヲ專修スル飛行術練習生ノ教育
- 二 射撃術ヲ專修スル飛行術練習生ノ教育

「新竹海軍航空隊」ヲ「鹿屋海軍航空隊」ニ改ム

(内令提要卷一、三〇ノ四三頁参照)

内令第二十二號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空隊定員表其ノ十三中鹿屋ノ欄竝ニ軍醫長軍醫中少佐、分隊長軍醫少佐、軍醫大尉、隊附看護特務中少尉、隊附技師及計ノ部中高等文官ノ各項ヲ削ル

同表備考第三號中「六人(築城海軍航空隊ハ四人)」ヲ「四人」ニ改ム

0993

海軍航空隊定員表其ノ十二ノ二、海軍航空隊定員表其ノ十八ノ十三ノ四及海軍航空隊定員表其ノ十八ノ十三ノ五ヲ各別表ノ如ク定ム
 第二十七表ノ十三ノ三海軍航空隊定員表其ノ十三ノ三 削除
 第二十七表ノ十五海軍航空隊定員表其ノ十五 削除

(別表三葉添)

(内令提要卷一、三一八頁参照)

内令第二十三號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ三ノ三中鹿屋ノ項ヲ左ノ如ク改メ宿毛及新竹ノ各項ヲ削ル

鹿	一/三
屋	二/二
	三/四
	四/五
	五/六
	六/七
	七/八
	八/九
	九/一〇
	一〇/一一
	一一/一二
	一二/一三
	一三/一四
	一四/一五
	一五/一六
	一六/一七
	一七/一八
	一八/一九
	一九/二〇
	二〇/二一
	二一/二二
	二二/二三
	二三/二四
	二四/二五
	二五/二六
	二六/二七
	二七/二八
	二八/二九
	二九/三〇
	三〇/三一
	三一/三二
	三二/三三
	三三/三四
	三四/三五
	三五/三六
	三六/三七
	三七/三八
	三八/三九
	三九/四〇
	四〇/四一
	四一/四二
	四二/四三
	四三/四四
	四四/四五
	四五/四六
	四六/四七
	四七/四八
	四八/四九
	四九/五〇
	五〇/五一
	五一/五二
	五二/五三
	五三/五四
	五四/五五
	五五/五六
	五六/五七
	五七/五八
	五八/五九
	五九/六〇
	六〇/六一
	六一/六二
	六二/六三
	六三/六四
	六四/六五
	六五/六六
	六六/六七
	六七/六八
	六八/六九
	六九/七〇
	七〇/七一
	七一/七二
	七二/七三
	七三/七四
	七四/七五
	七五/七六
	七六/七七
	七七/七八
	七八/七九
	七九/八〇
	八〇/八一
	八一/八二
	八二/八三
	八三/八四
	八四/八五
	八五/八六
	八六/八七
	八七/八八
	八八/八九
	八九/九〇
	九〇/九一
	九一/九二
	九二/九三
	九三/九四
	九四/九五
	九五/九六
	九六/九七
	九七/九八
	九八/九九
	九九/一〇〇

同表中第九〇一ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

内令

三三三

0994

内令

三四

第一五三	-/二	-/三	〇/一	三/五	三/六	三/九	七/五	〇	二/三	〇	四九/〇	-/二	-/二	-/二	-/二	三/七	〇	三/五
第四五三	-/一	-/一	三/五	三/四	三/五	三/五	六/二	-/二	〇	三/六	四九/〇	-/一	-/一	二/三	-/二	三/五	二/五	二/五

教員配置表其ノ二海軍航空隊ノ部中河和ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ新竹ノ項ヲ削ル

鹿	屋	一〇	一八六	六八	二
---	---	----	-----	----	---

(内令提要卷一、四三〇ノ八頁参照)

内令第二十四號

昭和十五年内令第八百八號海軍航空隊特別定員表等ノ件申左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

海軍航空隊特別定員表其ノ四ノ三ヲ別表ノ如ク定ム

海軍航空隊特別定員表其ノ十五中「整備長 少佐、大尉

内務長	中少佐
修補長兼	中少佐
分隊長	

三十三人「ニ、特務士官」二十一人「二十一」十三人「二十五人」ニ、准士官「三十一人」
 二十六人「ヲ」十七人「三十三人」ニ、下士官「百三十八人」百四十五人「ヲ」八十人「百三十八人」
 ニ、兵「三百三十一人」三百三十七人「ヲ」二百九人「三百三十二人」ニ改メ「機關兵曹長」一
 「一」ヲ削ル

同表備考第一號乃至第四號ヲ左ノ如ク改ム

一 隊附兵科尉官ノ中四人（佐伯海軍航空隊ハ八人）ハ飛行部附、一人（佐伯海軍航空隊ハ二人）

ハ飛行機整備部附ニ充ツ

二 中少尉（水）及兵曹長ノ中一人ハ掌通信長ニ充ツ

三 中少尉（整）及整備兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、一人ハ飛行部附、一人ハ兵器整備部ニ充ツ

四 中少尉（水）及兵曹長又ハ中少尉（機）ノ中一人ハ掌内務長ニ充テ中少尉（工）及工作兵曹

長ノ中一人ハ掌修補長ニ充ツ

海軍航空隊特別定員表其ノ十八中鹿屋ノ欄ヲ削リ「整備長 中佐」

「一」ヲ

内務長 中少佐
 修補長兼 中少佐
 分隊長 中少佐
 「一」

ニ、飛行隊長中少佐「二」ヲ「六」ニ、分隊長少佐、大尉「九」ヲ「二十八」ニ、「隊附 兵科尉官」

0997

「十六」ヲ「隊附」 兵科尉官 四十九	「軍醫長 軍 醫 中 佐」 「軍醫長兼 軍 醫 中 少 佐」 「分隊長 軍醫少佐、軍醫大尉」	「主計長兼 主計」 「分隊長」
「軍醫長 軍 醫 中 少 佐」 「分隊長 軍醫少佐、軍醫大尉」	「主計長兼 主計中少佐」 「隊附主計科尉官」 「主計長兼 主計」 「分隊長」	「主計長兼 主計」 「分隊長」
「主計長兼 主計中少佐」 「分隊長」	「隊附主計科尉官」 「主計長兼 主計」 「分隊長」	「主計長兼 主計」 「分隊長」
「八」ヲ「五十二」ニ、同中少尉（整）「六」ヲ「十七」ニ改メ、同衛生中少尉ノ下ニ「一」ヲ加ヘ 兵曹長「二」ヲ「三」ニ、飛行兵曹長「七」ヲ「五十九」ニ、整備兵曹長「十二」ヲ「三十一」ニ、 工作兵曹長「一」ヲ「二」ニ、主計兵曹長「一」ヲ「二」ニ、兵曹「二十三」ヲ「三十六」ニ、飛 行兵曹「二十一」ヲ「百七十五」ニ、整備兵曹「六十八」ヲ「二百十三」ニ、機關兵曹「八」ヲ 「十二」ニ、工作兵曹「十三」ヲ「二十四」ニ、衛生兵曹「二」ヲ「六」ニ、主計兵曹「八」ヲ 「十二」ニ、水兵「四十五」ヲ「六十」ニ、整備兵「二百八十八」ヲ「八百九十八」ニ、機關兵「三 十五」ヲ「四十八」ニ、工作兵「二十」ヲ「四十七」ニ、衛生兵「五」ヲ「十六」ニ、主計兵「二 十二」ヲ「六十四」ニ、士官「三十七人」ヲ「九十八人」ニ、特務士官「十九人」ヲ「七十五人」	「主計長兼 主計中少佐」 「隊附主計科尉官」 「主計長兼 主計」 「分隊長」	「主計長兼 主計」 「分隊長」

内令

三七

0998

ニ、准士官「二十五人」ヲ「九十九人」ニ、下士官「百四十三人」ヲ「四百七十八人」ニ、兵「四百十五人」ヲ「千百三十三人」ニ改メ隊附技師及計ノ部中高等文官ノ各項ヲ削ル

同表備考第一號乃至第四號ヲ左ノ如ク改ム

一 隊附兵科尉官ノ中四十二人ハ飛行部附、四人ハ飛行機整備部附、三人ハ兵器整備部附ニ充ツ

二 中少尉（水）及兵曹長ノ中一人ハ掌通信長ニ充ツ

三 中少尉（整）及整備兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、一人ハ飛行部附、十人ハ兵器整備部附ニ充ツ

四 中少尉（水）及兵曹長又ハ中少尉（機）及機關兵曹長ノ中一人ハ掌内務長ニ充テ中少尉（工）

及工作兵曹長ノ中一人ハ掌修補長ニ充ツ

海軍航空隊特別定員表其ノ十九中「別表第十九」ヲ「別表第十九ノ二」ニ、「其ノ十九」ヲ「其ノ十

九ノ二」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ十九及海軍航空隊特別定員表其ノ二十ノ四ノ二ノ二ヲ各別表ノ如ク定ム

別表第八海軍航空隊特別定員表其ノ八 削除

別表第十八ノ二海軍航空隊特別定員表其ノ十八ノ二 削除

海軍航空隊特別特修兵配置表中鹿屋、吳、佐伯及築城ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改ム

0999

内令

三九

築城	佐伯	吳	鹿屋
一/三	〇/一	〇/一	一/一
一/三	一/一	一/一	一/二
二/三	一/三	一/二	二/三
三/六	二/五	二/五	三/五
三/四	九/八	六/三	五/二
八/九	八/五	八/九	八/九
五/九	三/八	二/五	三/五
四/九	〇	〇	二/三
二/三	一/一	〇/一	一/二
三	〇	〇	三
二六/三五	二八/三五	一四/二八	一八/二〇
一/二	〇/一	〇/一	一/一
一/二	〇/二	〇/二	〇/二
二/四	一/三	一/二	一/四
二/五	一/四	一/三	一/四
二/三	一/二	一/一	一/三
二/六	一/三	一/二	二/四
三/六	二/三	一/二	三/五
七/四	四/六	二/五	五/九
二/四	一/三	一/一	二/三
一/一	一/一	〇/一	一/一
七/三	四/七	三/五	五/〇
三/七	二/五	二/四	四/八
二/六	一/四	一/三	二/六
三	九	六	八

同表中第一五ノ項ノ次ニ第一五二ノ項ヲ、第七〇五ノ項ノ前ニ第四五三ノ項ヲ夫々左ノ如ク加へ
新竹及宿毛ノ各項ヲ削ル

第一五三	第四五三
一/一	〇/一
一/二	一/一
〇/二	一/三
三/五	二/五
四/六	九/八
六/三	五/五
三/六	六/二
〇	〇
三/三	一/二
〇	〇
三〇/四〇	五/四九
〇/一	〇/一
〇/二	〇/二
一/二	一/三
二/四	一/三
一/一	一/一
一/二	一/二
一/三	一/二
四/九	四/六
一/二	一/三
一/〇	〇
三/七	三/五
二/四	二/三
一/三	二/三
九	四

同表備考第二號中

新竹 88

ヲ削ル

海軍航空隊特別教員配置表中宮崎ノ項ノ次ニ左ノ一ノ項ヲ加へ新竹ノ項ヲ削ル

鹿屋
一三
一八二
一一八
五

内令

四〇

(内令提要卷一、四四八ノ一〇頁参照)

(別表三葉添)

内令第二十五號

昭和十七年内令第二十七號特設海軍航空隊定員表等ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設海軍航空隊定員表其ノ一第二〇ノ欄中分隊長少佐、大尉「十五」ヲ「十九」ニ、隊附兵科尉官「三十」ヲ「三十四」ニ、同中少尉(飛)「二十二」ヲ「十六」ニ、飛行兵曹長「二十七」ヲ「十九」ニ、主計兵曹長「二」ヲ「一」ニ、飛行兵曹「八十二」ヲ「五十」ニ、整備兵曹「百五十三」ヲ「百四十八」ニ、工作兵曹「二十二」ヲ「二十四」ニ、整備兵「六百六十三」ヲ「六百三十八」ニ、工作兵「三十」ヲ「四十七」ニ、士官「六十人」ヲ「六十八人」ニ、特務士官「三十八人」ヲ「三十二人」ニ、准士官「五十八人」ヲ「四十九人」ニ、下士官「三百十九人」ヲ「二百八十五人」ニ、兵「八百四十六人」ヲ「八百三十九人」ニ改ム

同表備考第二號中「二十七人」ヲ「二十九人」ニ、「三人ハ整備部附」ヲ「三人ハ飛行機整備部附、二人ハ兵器整備部附」ニ改ム
 特設海軍航空隊特修兵配置表中第二〇二ノ項ヲ左ノ如ク改ム

第二〇二
一/一
一/二
一/三
四/七
三/四
四/七
元/英
〇
一/三
六/七
〇/一
〇/二
一/三
二/四
一/三
二/三
二/四
八/〇
二/三
一/一
七/三
三/七
二/七
一五

(内令提要卷一、四五八頁参照)

内令第二十六號

昭和十五年内令第六百四十六號特設海軍工作部等ノ所掌區分等ニ關スル件申左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八海軍軍需部イン支部ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第八海軍軍需部 カビエン支部	カビエン	所在地方面各部ニ要スル軍需品(航空兵器ヲ除ク)ノ保管及供給ニ關スル事項
-------------------	------	-------------------------------------

内令

四一

1002

内
令

(内令提要卷一、三八ノ五二頁参照)

四二

1003

内令第二十七號

昭和二年内令第二百三十九號海軍軍樂隊配置表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二艦隊司令部ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第三艦隊司令部
乙
種
一
隊

(内令提要卷一、四五〇ノ四頁参照)

内令

四三

1004

内令第二十七號 (後送ス)

内令第二十八號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セララル

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設警備隊定員表其ノ六ノ七中「第三十二表ノ七ノ七」ヲ「第三十二表ノ七ノ八」ニ、「其ノ六ノ七」ヲ「其ノ六ノ八」ニ改ム

特設警備隊定員表其ノ六ノ八中「第三十二表ノ七ノ八」ヲ「第三十二表ノ七ノ九」ニ、「其ノ六ノ八」ヲ「其ノ六ノ九」ニ改ム

特設警備隊定員表其ノ六ノ七ヲ別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、五六二ノ一四ノ三頁参照)

内令第二十九號

昭和十九年一月一日特設軍艦ヨリ特設運送船ニ變更セラレタル特設運送船ノ定員ハ當分ノ間従前ノ

内令

四五

1005

内令

四六

特設軍艦ノ定員以内トス但シ艦長ハ指揮官トシ軍醫長及主計長以外ノ職員ハ乗組トス

前項ノ特設軍艦ノ職員ハ別ニ辭令等ヲ用ヒズシテ當該特設運送船ノ職員ニ補命セラレタルモノトス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1006

内令第三十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦 橋立

兵 曹、水兵 三人

内令

四七

1007

内令第三十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊海軍軍需部(小樽出張所職員ニ充ツベキモノ)

主計科 尉官 部員 一人

中少尉(機)、機關兵曹長 附 一人

兵曹、機關兵曹 二人(特修兵適宜)

主計兵曹 一人(掌理兵)

内令

四九

1008

内令第三十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設砲艦 神津丸

工作兵曹、工作兵

五人(掌工兵^檢_{本其}二三)

内令

五一

1009

内令第三十三號

昭和十八年内令第五百三十五號中左ノ通改正ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「五人」ヲ「十人」ニ、「兵曹、機關兵曹 二十人」ヲ「兵曹、機關兵曹 四十一人（掌理兵）」ニ
改ム

参照 前記内令ハ高雄警備府（臺灣總督府海軍兵志願者訓練所職員ニ充ツベキモノ）等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

五三

1010

内令第三十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八海軍病院

衛生兵曹、衛生兵

四十人

内令

五五

1011

内令

五七

内令第三十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十號驅潛艇

第十二號驅潛艇

兵 曹、水 兵

九人(掌砲兵 四)

1012

内令第三十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十五年内令第百八十四號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍兵學校(廢艦第十一號(舊稱平戸)ノ保管員ニ充ツベキモノ)

中少尉(水)、兵曹長 附 一人

中少尉(機)、機關兵曹長 附 一人

兵 曹、水 兵 十七人(掌砲兵 一、掌帆兵 一、掌信號兵 一)

機關兵曹、機關兵 十七人(掌機兵(主機) 一、掌電機兵 一)

衛 生 兵 一人

主 計 兵 一人

參照 廢止内令ハ吳海兵團ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内 令

五九

1013

内令〔自第三十號
至第三十六號〕
(後送ス)

内令第三十七號

昭和二年内令第二百三十九號海軍軍樂隊配置表ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

〔横須賀第一海兵團〕ヲ〔横須賀海兵團〕ニ、〔佐世保第一海兵團〕ヲ〔佐世保海兵團〕ニ改ム

(内令提要卷一、四五〇ノ四頁参照)

内令第三十八號

昭和十七年内令第二千五十五號海兵團新兵數標準超過ノ際人員臨時増置ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

〔横須賀第二海兵團〕ヲ〔武山海兵團〕ニ、〔佐世保第二海兵團〕ヲ〔相浦海兵團〕ニ改ム

(内令提要卷一、四八一頁参照)

内令

六一

1014

内令第三十九號

昭和十八年内令第八百五十九號海兵團豫備補習生數標準超過ノ際人員臨時増置ノ件申左ノ通改正ス
昭和十九年一月四日
海軍大臣 嶋田繁太郎

別表中「横須賀第一海兵團」ヲ「横須賀海兵團」ニ、「佐世保第一海兵團」ヲ「佐世保海兵團」ニ改ム

(内令提要卷一、四八五頁参照)

内令第四十號

昭和十八年内令第二千九十四號高等商船學校等海軍武官配屬表ノ件申左ノ通改正ス
昭和十九年一月四日
海軍大臣 嶋田繁太郎

別表中「横須賀第一海兵團」ノ「横須賀海兵團」ニ、「佐世保第一海兵團」ヲ「佐世保海兵團」ニ改ム

内令第四十一號

海軍定員令申左ノ通改正セラル

昭和十九年一月四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海兵團定員表其ノ一中「横須賀第一」ヲ「横須賀」ニ、「佐世保第一」ヲ「佐世保」ニ改ム
同表備考第一號及第五號中「横須賀第一海兵團」ヲ「横須賀海兵團」ニ、「佐世保第一海兵團」ヲ
「佐世保海兵團」ニ、同備考第六號中「横須賀第一海兵團」ヲ「横須賀海兵團」ニ改ム
海兵團定員表其ノ二中「横須賀第二」ヲ「武山」ニ、「佐世保第二」ヲ「相浦」ニ改ム

(内令提要卷一、二七二頁参照)

内令第四十二號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年一月四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ二ノ五中「横須賀第一」ヲ「横須賀」ニ、「佐世保第一」ヲ「佐世保」ニ、「横須賀第二」ヲ「武山」ニ、「佐世保第二」ヲ「相浦」ニ、同表備考第六號中「横須賀第一海兵團」ヲ

内令

六三

1016

内令

六四

「横須賀海兵團」ニ改ム
教員配置表其ノ二海兵團ノ部中「横須賀第一」ヲ「横須賀」ニ、「佐世保第一」ヲ「佐世保」ニ、
「横須賀第二」ヲ「武山」ニ、「佐世保第二」ヲ「相浦」ニ、同表備考第一號中「横須賀第一海兵團」
ヲ「横須賀海兵團」ニ改ム

(内令提要卷一、四三〇ノ三頁参照)

1017

内令第四十三號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦、巡洋艦二等川内型ノ項中「川内、」ヲ削ル

驅逐艦、一等卯月型ノ項中「望月」ヲ、同不知火型ノ項中「初風」ヲ、夕雲型ノ項中「涼波」

ヲ、同二等若竹型ノ項中「早苗」ヲ削ル

潜水艦、一等伊十七型ノ項中「伊號第三十四」ヲ削ル

海防艦、占守型ノ項中「若宮」ヲ削ル

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第四十四號

特務艦類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

六五

1018

内令

六六

測量艦ノ部中「筑紫」ヲ削ル

(内令提要卷三、四〇頁参照)

内令第四十五號

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特務艇、驅潛特務艇第一號型ノ項中「第三十一號」ヲ削ル

(内令提要卷三、四二頁参照)

内令第四十六號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1019

二等巡洋艦定員表其ノ三中「川内、」ヲ削ル
 一等驅逐艦定員表其ノ一中「望月、」ヲ削ル
 二等驅逐艦定員表其ノ五中「初風、」ヲ削ル
 一等驅逐艦定員表其ノ六中「涼波、」ヲ削ル
 同表備考第四號中「涼波、」ヲ削ル
 二等驅逐艦定員表中「早苗、」ヲ削ル
 一等潛水艦定員表其ノ五中「第三十四、」ヲ削ル
 海防艦定員表其ノ一中「若宮、」ヲ削ル
 測量艦定員表其ノ一ヲ削ル
 測量艦定員表其ノ二中「第九十三表ノ二」ヲ「第九十三表」ニ改メ「其ノ二」ヲ削ル

(内令摘要卷一、三七四頁参照)

内令第四十七號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

内令

六七

内令

六八

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ八二等巡洋艦ノ部中「川内、」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十四一等驅逐艦ノ部中「望月、」、「初風、」及「涼波、」ヲ削ル

同表備考第二號中「卷波、」、「大波、」及「涼波、」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十五二等驅逐艦ノ部中「早苗、」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十六一等潛水艦ノ部中「第三十四、」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十七ノ二中「若宮、」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十九測量艦ノ部中筑紫ノ項ヲ削ル

同表備考第三號中「筑紫、」ヲ削ル

(内令提要卷一、四三〇ノ一五頁参照)

1021